

様式1

福祉サービス第三者評価結果報告書
【児童福祉分野（保育所）】

【受審施設・事業所情報】

事業所名称	城南学園保育園	
運営法人名称	学校法人 城南学園	
福祉サービスの種別	保育所	
代表者氏名	園長 八重津 史子	
定員（利用人数）	70 名	
事業所所在地	<p>〒 546-0021 大阪市東住吉区照ヶ丘矢田2-23-13</p>	
電話番号	06 - 6702 - 9260	
FAX番号	06 - 6702 - 9262	
ホームページアドレス	https://jonan.jp/hoikuen/	
電子メールアドレス		
事業開始年月日	平成28年4月1日	
職員・従業員数※	正規 19 名	非正規 5 名
専門職員※	保育士 23名 看護師 1名 管理栄養士 1名	
施設・設備の概要※	<p>[居室]</p> <p>[設備等] 0歳児室、1歳児室、2歳児室、3歳児室、4歳児室、5歳児室、調乳室、医務室、職員室、園児トイレ3、多目的トイレ1、大人トイレ2、園庭、相談室、更衣室</p>	

※印の項目については、定義等を最終頁に記載しています。

【第三者評価の受審状況】

受審回数	0 回
前回の受審時期	年度

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

【理念・基本方針】

【法人理念】

城南学園の建学の精神である「自主自立」「清和気品」にのっとり、城南学園保育園は乳児期からの人との関係性の育ちを基本とし『身体性の育ち』『精神性の育ち』『ことばの育ち』を大切にします。

【保育方針】

- ・信頼できる大人との出会いの場になるように、子どもの人権を守る。
- ・愛されているという実感のなかで、のびのびと自分らしさを発揮し、個性豊かに育つように見守る。
- ・常に本物に触れ、文化的な環境を整え、豊かな感性を育む。
- ・自然の恵みのなかで、養護と教育が一体となり、様々な体験を通して生きる喜びを育む。
- ・一人一人の違いを認め合う仲間づくりを大切にする心を育む。
- ・地域の人たちとのふれあいを通して分かち合いの心を育む。
- ・保育士の専門性をいかし、保護者支援、地域の子育て支援に貢献する。

【保育目標】

ひとりひとり、どの子もかけがえのない子どもたち。子どものありのままの姿を受け入れ 以下六つの目標を掲げて保育を行ないます。

- ①どんな小さなことにも感謝することのできる子どもに
- ②全ての命を大切にする子どもに
- ③遊びも学びも根気よく集中できる子どもに
- ④表現豊かな子どもに
- ⑤自分のように隣人を大切に思える子どもに
- ⑥仲間を大切にし、地域の中でともに育ちあう子どもに

【施設・事業所の特徴的な取組】

- ❖子どものありのままの姿を受け入れ生活の中で丁寧に向き合い、一人一人が自分は大切な存在だと感じる心を育てています。
一人一人の個性を認め合い子ども達が共に過ごす時間を大切にすることで理解を深め、社会性や豊かな人間性を身につけるようにしています。
- ❖給食、おやつは園内の厨房にて手作りしたものを提供。安心・安全な材料を厳選し、栄養バランスのとれた美味しい給食を提供しています。
メニューも豊富で子どもにとって楽しい時間となるようにしています。離乳食
・アレルギーをもつ子ども一人ひとりに合わせてきめ細やかに対応しています。
- ❖職員全員が様々なテーマの研修を受けて学ぶ機会があります。保育士のスキルアップがよりよい保育、さらに子ども達の健やかな成長につながることを大切にしています。
必要に応じて法人内の大学、短大の各専門分野の教員を招いての研修やコンサルテーションを隨時行えるつながりをもっています。

【評価機関情報】

第三 者 評 価 機 関 名	株式会社EMアップ	
大 阪 府 認 証 番 号	270057	
評 価 実 施 期 間	令和7年7月15日～令和7年11月12日	
評 価 決 定 年 月 日	令和7年12月15日	
評 価 調 査 者 (役割)	2102C002 (運営管理・専門職委員)	1901C020 (運営管理・専門職委員)

【総評】

◆評価機関総合コメント

城南学園保育園は、学校法人城南学園が運営主体とする認可保育園です。城南学園の建学の精神である「自主自立」「清和気品」を掲げ教育に力を入れた施設を展開しています。法人には保育園から大学院までの一貫教育を行う総合学園として社会に必要とされる人材を多数輩出しています。城南学園保育園は、大阪市を構成する24行政区のうちの1つである東住吉区に立地しています。周辺は、法人内の学園施設があり、周辺一帯が教育保育施設に囲まれた環境となっています。園舎は、法人建物の1階部にあり、玄関を入れると子ども達の靴箱・広いホールがあり子どもは、集会や夕方の集い等で集まることができる場所となっています。ホールの両サイドに各年齢の保育室があり、子どもが隣のクラスへ行き来もできるゆったりと一日が過ごせる環境となっています。園舎内に園庭や0歳児クラス専用のテラスがあり、学園内の共有のグランドや芝生スペース、乳児が遊べる遊具が設置されたグランドもあり、多くの施設等で過ごせる快適な環境が整備されています。大学との連携が多くあり、実習生やインターンシップの受入れが積極的に行われ、子どもは園外の大人との関係性を持つ機会が多くあります。施設長は、保育現場での経験を活かし施設の改善点を職員と共有し、一緒に取り組む姿勢で主任保育士と共に職員指導を行っています。また保護者支援についても真摯に対応し、子どもへの対応について保護者に寄り添う姿勢を基本とし、日頃から育児相談を受けています。その中で施設への理解が得られるよう様々な創意工夫に努めています。また、職員は法人の理念に賛同し、実現に向かって実践し保育方針・目標を基に、充実したより良い保育の提供ができるよう日々努力しています。今回初めての第三者評価受審となりましたが、法人本部との連携と全職員で評価項目に沿って、取り組まれました。多くの気づきを得られ、改善に向かわれています。

◆特に評価の高い点

- ◆法人本部との連携が密に行われており、スムーズな運営が展開されています
法人担当者と、施設の課題を共有し改善に向けて策を講じていく等、密に連携しています。法人全体で研修を行ったり、面談や人事考課を行う等の仕組みが整い組織的に行われています。
- ◆施設の課題を職員間で共通認識し、改善に努めています
施設長の保育に対する情熱や主任保育士の課題解決に向かう姿勢が保育者同士の良好なコミュニケーションを作り、より良い保育実践に繋がるよう職員間で情報共有が行われています。
- ◆子どもが快適に過ごせる環境が整備され、施設外の方々とのコミュニケーションがとれる環境があり社会性を育む保育が展開されています
法人学園の学校施設が多くあり、共有して施設を使用できる環境があります。大きなグラウンドで思い切り身体を動かせる機会や大学生等との関わりが頻繁にあり、豊富な経験ができ、社会性が育まれています。

◆改善を求められる点

- ◆指導計画の作成に当たりアセスメント手法や指導計画作成の検討が望されます
指導計画は保育所保育指針に基づいて、全体的な計画に位置づけて作成することが望まれます。乳児における教育保育内容について「3つの視点」で捉えた全体的な計画になるよう見直しを行い、全職員が参画して作成することが望れます。
- ◆子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われるよう人権擁護の方針等を学ぶ機会をもつことが望されます
排せつや着替えシャワー時等の日常の保育場面におけるプライバシーに配慮し、子どもの人権配慮ができる環境を整備することが望れます。また、マニュアル等に子ども尊重した教育・保育における基本姿勢を反映させ保育実践を行うことが望れます。
- ◆乳児保育について「城南学園保育園の私たちの保育」を基に保育実践の見直しが望まれます
食事・排泄・着替え・食事等について、本園の乳児保育の方針に応じた保育実践を行うことが望れます。施設の標準的な実施方法を基本に、職員間で検討し、見直しをすることが望れます。

◆第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育園の創立10年目にあたって、第三者評価を受審する貴重な機会を得ましたことに感謝しております。
当初は多少不安もありましたが、説明会でEMアップの皆様が丁寧に説明をしてくださって「一緒にやっていきましょう。だいじょうぶですから。」というお言葉を頂き、心強く、安心したことを覚えております。
職員全員で自分たちの保育を細かく振り返り、保育園の様々な環境を見直し、運営については事務局とじっくり話し合うという時間をもったこと、その中で一人一人の職員の思いを分かち合い保育園の現状を改めて共有することができたと思います。
この度、結果を頂いて高い評価を頂いた項目については謙虚に受けとめ、さらに大切に深めていくように、また、指摘して頂いた改善点については、よりよい改善に向けて職員全員で慎重に協議し、課題として真摯に受けとめて具体的な取り組みを始めています。
第三者評価を受審することで、職員一同、子ども達のかけがえのない命を預かる保育園として、また、子ども達の心に寄り添う者としての喜びと責任を新たにすることことができました。
心から感謝いたします。ありがとうございました。

◆第三者評価結果

- 別紙「第三者評価結果」を参照

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	保 護 者
調査対象者数	72人 (回収率 57%)
調査方法	アンケート調査-無記名方式 (2025年9月実施)

利用者への聞き取り等の結果(概要)

アンケート回収率は 57%で、自由記述欄には、49%の方が声を寄せていました。設問が 14問あるなかで「はい」と回答した結果が下記の通りになりました。

◆100%の高率が 1設問ありました

○園内は全体的にいつも清潔で整理整頓されていると思いますか。

◆90%の高率が 4設問ありました

○園やクラスの様子などについて「園だより」「クラスだより」等を通じて、わかりやすく伝えられていますか。

○災害や不審者の侵入等、様々な危機を想定して子どもの安全を守るべき対策が十分取られていると思いますか。

○献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の献立や内容が充実しているとわかるようになっていますか。

○懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか。

◆80%台の回答は 6設問ありました

○保育や教育の考え方や、指導内容に関する説明は様々な機会において丁寧に行われていると思いますか。

○入園時の説明や、園の子どもたちの様子を見て子どもを預けることへの不安が軽減しましたか。

○子どもの気持ちや様子・子育ての悩みなどについて職員と話したり、相談したりすることが出来るような信頼関係がありますか。

○園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか。

○お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったりした際の対応や慢性的な病気の対応は適切になされていますか。

○職員の言葉使いなどは丁寧で、服装などの身だしなみが整っていると思いますか。

◆70%台の回答は 2設問ありました

○園の保育内容や保育サービスについて、あなたの意見や意向を伝えることができますか。

○日常的な情報交換に加え、別の機会を設けて相談に応じてくれたり、個別面談などを行っていますか。

◆50%台の回答は 1設問ありました

○保護者からの苦情や意見に対して、園から「懇談会」や「園だより」などを通じて説明がありましたか。

【総合的な感想】

特に意見の多かった点は、周りの友達の行動や色々な事を教えてくださるので、出来ることが増えているのが良いと思います。という回答がありました。要望があったのは、子どもの体調の事など、こちらから伝えたことが担任間で情報共有されていないと感じることが度々あります。という回答が寄せられています。